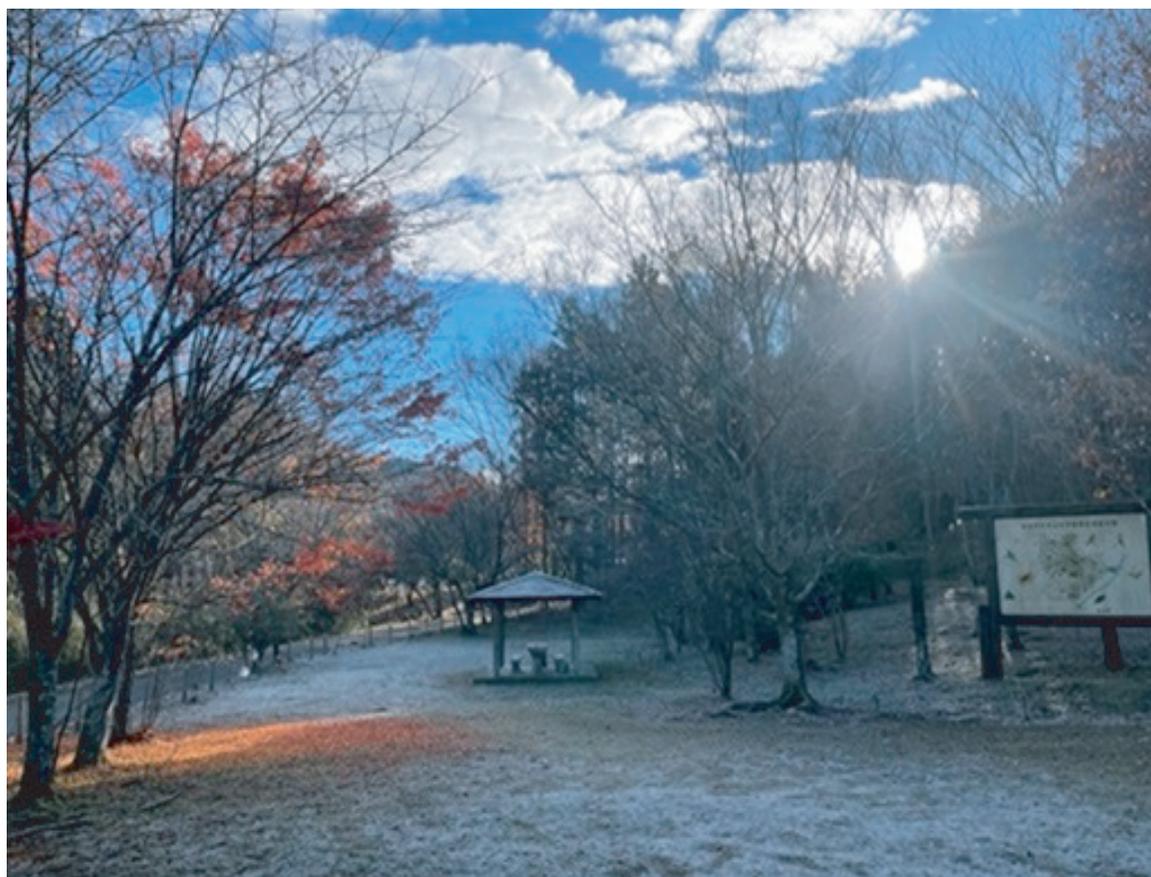


仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2024年12月号

森のおくりもの12

NO.399 The Gift from Woods



もう師走、あっという間に最後の月に... 1年間、ありがとうございました。今年には猛暑のために利用者が減少し寂しい夏となってしまいましたが、来年はどうなるのでしょうか。温暖化の影響で早春に咲く草花の開花が早まり、秋に咲く草花の開花は遅くなり、食物連鎖のバランスも... 生き物たちの大切さを感じる森へ、来年もご利用をお待ちしております。【館長：佐藤由美】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『終わりよければ全てよし』

あっという間に今年も残りわずかとなりました。今年の印象は、暑さや台風など温暖化による気象への影響をひしひしと感じたことです。秋になっても平年より高い気温だったので、このままだと紅葉も大幅に時期がずれたりきれいに色づかなかったりするのではと危惧され、現に各地で紅葉が1週間から10日ほど遅れたという報道を目にしました。しかし、寒気が入って気温が急激に下がり、初霜も降りたことで一気に紅葉が進み、ほぼいつも通りとなりました。

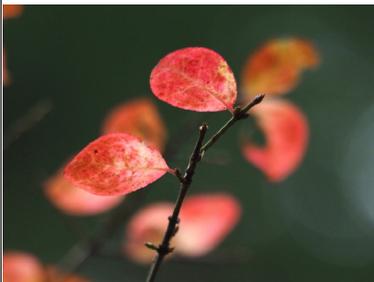
紅葉が鮮やかになる条件としては、一日の最低気温が8℃以下で始まり、5～6℃以下になるとさらに進んで、日光によく当たり昼夜の気温差が大きくなる必要があります。紅葉のメカニズムについては、文章量が多くなるので省略しますが、化学変化の結果で色が変化しているだけで、樹木にとっては美しいかどうかは関係なく、最終的に落葉となればそれでいいみたいです。自然への影響があったのかどうかはわかりませんが、紅葉に関してはいい気象状況で、季節の最後にまずまずの美しさを堪能できました。

「終わりよければ全てよし」という言葉があります。「物事は最後の締めくくりが一番大切で、結末さえよければ発端や過程がまずくても問題にならないこと」です。物事を完成させる過程において、いろいろなことがあっても最終的に立派な結末を迎えられたとき、ほっとした気持ちでよく使われます。日本のことわざではなく、シェイクスピアの戯曲に『All's well that ends well.』という同じ意味のタイトルがあり、これにより広まったといわれています。

この言葉を裏付ける“ピーク・エンドの法則”が提唱されています。「人はある出来事に対し、感情が最も高まったときの印象と、最後の印象だけで全体的な印象を判断する」という法則です。ということは、今年の運勢があまりよくなかった私でも、最後にすごくいいことがあれば悪いイメージも帳消しになるということです。でも、あとわずかな日数なので、間に合うでしょうか…。

では、よいお年をお迎えください。

【レンジャー：新田隆一】



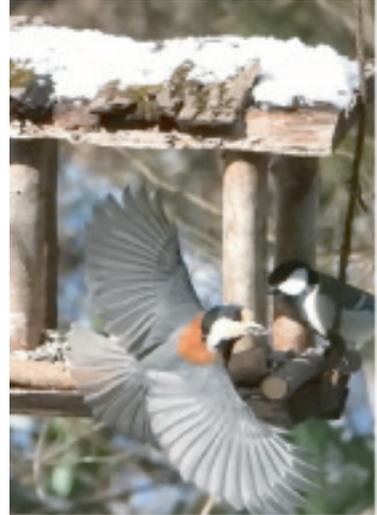
野鳥のレストランを開催します

12月初めから3月末までセンター裏庭にバードテーブル(野鳥のレストラン)を設置します。研修室からゆくりと観察できますので是非お越しください。

バードテーブルの様子



センター裏庭に設置したバードテーブルの様子。柱の周りには平板に釘を複数打ち『イノシシ避け』を取り付けています。



バードテーブルを設置して10日もすればたくさんのスズメたちがやってくる。

研修室の様子



野鳥にストレスを与えないようにのぞき窓から見られるようにしています。右のテーブルには『野鳥クイズ』を設置。正解者には『オリジナル野鳥しおり』をプレゼント!!

バードテーブルにやってくる野鳥たち

ヤマガラ



14cm/ 留鳥

オレンジ色のお腹が特徴。ヒマワリを両足ではさみ、くちばしで割って食べる。

シジュウカラ



15cm/ 留鳥

胸の黒い筋が特徴。オスはメスより太い。ヒマワリを食べる。

ヒヨドリ



28cm/ 漂鳥
留鳥

バードテーブルを占領し、他の鳥を追い払うこともある。

アオジ



16cm/ 漂鳥
留鳥

バードテーブルにはのらわず、地面にまいたエサをついばんで食べる。数匹でやってくる。

【レンジャー：齋 正宏】

※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

森の「あれこれ」



「冬鳥本番」

コナラの葉が落ちて見通しが良くなると野鳥観察がしやすくなります。この季節観察の森には下の写真のジョウビタキやカシラダカ、マヒワなどの冬鳥（秋に日本より北の地域より渡って冬を越し春に北に戻る鳥）が来日します。



ルリビタキやミソサザイ、ウソなどの漂鳥（冬期に北日本や山地から暖地や低地へ比較的短い距離を移動する鳥）も楽しみ！特に大人気の青いルリビタキの雄を見ようと多くのバードウォッチャーが森を訪れます。



ほかにも観察の森に冬を中心にやって来る鳥もいますよ。昨年12月に確認した野鳥リストの一部を以下にのせておきます。

オオアカゲラ、キクイタダキ、ヒガラ、ミソサザイ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、マヒワ、ベニマシコ、ウソ、カシラダカ、そして上空を飛ぶハクチョウの仲間など。

出会いやすかったり、なかなか出会えなかったりとさまざまですが、野鳥の声に耳をすましたり、じっと静かに観察することで思いがけない発見があるかもしれません。“野鳥観察の仕方がわからない”という方は当施設で行っている野鳥観察のイベントに参加してみてもいいでしょうか。

もちろんシジュウカラやヤマガラ、エナガなど一年中会える鳥たちにもお近づきのチャンスです。暖かい服装でおいで下さい。

え？寒いのが苦手？…では暖かい室内から野鳥のレストランをどうぞ。

【レンジャー：木田秀幸】

森は生きている



カメムシというと「臭い」などのイメージがありますが、観察の森では様々な種類がいます。① 牛の角のような突起があるウシカメムシ ② ハートマークが特徴のエサキモンキツノカメムシ ③ クズの葉によくついてるのが見られるマルカメムシ ④ 白黒縞模様が横綱の化粧まわしに似てるヨコツナサシガメ ⑤ 金属光沢のある緑色の美しいアカスジキンカメムシ



紅葉も散り始め、観察の森も少しずつ景色が変化しています。森に住む生き物たちの姿も少なくなりましたが、私もここでの初めての冬を経験します。寒がりなのでいっぱい服を着込んで、歩きたいと思いますが、みなさんはいかがですか。

【レンジャー：菅井 潤】

12月のイベント & お知らせ

◆『野鳥のレストラン』 OPEN！

- ・ 冬季限定でバードテーブル（野鳥のためのえさ台）を設置しています
開館時間中、研修室の窓から餌を食べる様子をそっと見ることができます
【期間】12月1日(日)～3月30日(日) 9:00～16:30

◆『おはよう野鳥かんさつ』

- ・ 講師の解説を聞きながら冬の雑木林を歩いて野鳥観察をします
【日時】12月14日(土) 7:00～8:30
【対象】どなたでも（中学生以下は保護者同伴）15名
【持ち物】双眼鏡、飲物、帽子、かっぱ、防寒具、歩きやすい服装と靴
【申込み】12月6日(金)午前9時から電話で受付〔先着〕

◆『野鳥観察とバードケーキ作り』

- ・ 野鳥の観察と野鳥のえさのバードケーキ作りを楽しみます
【日時】12月21日(土) 10:00～11:50
【対象】小学3年生以上（中学生以下は保護者同伴）10名
【持ち物】双眼鏡、飲物、帽子、かっぱ、防寒具、歩きやすい服装と靴
【申込み】12月7日(土)午前9時から電話で受付〔先着〕



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日：1日、8日、15日、22日

開催時間：10:00～11:30

※12月～3月の冬季は午前のみ開催

申し込み不要。時間までにセンター前へお集まり下さい。

12月の休館日

2日(月)、9日(月)、
16日(月)、23日(月)
毎週月曜日休館、年末年始
12月28日～1月4日まで

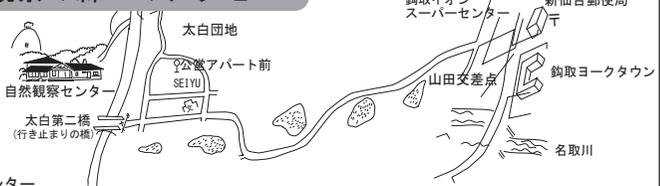
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで！

2024年12月号

発行：(公財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>